

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニレコ

コード番号 6863 URL <http://www.nireco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川路 憲一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員管理部門長

(氏名) 長塚 寛

TEL 042-642-3111

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

平成25年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,100	△7.6	79	△33.3	105	△31.6	193	88.5
25年3月期第2四半期	3,356	△3.5	119	△10.9	153	△5.9	102	132.6

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 173百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △38百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	26.22	26.10
25年3月期第2四半期	14.03	13.97

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	12,611		11,108			87.4
25年3月期	12,497		11,009			87.3

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 11,023百万円 25年3月期 10,914百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	4.3	520	21.9	570	17.3	500	△3.9	67.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	9,205,249 株	25年3月期	9,205,249 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	1,786,319 株	25年3月期	1,826,619 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	7,396,032 株	25年3月期2Q	7,332,822 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、上記予想に関する事項は添付資料P. 3「連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国や欧州経済の先行きに懸念が残るものの、経済対策の効果により、回復に向けた足取りが徐々に強まりました。

しかしながら、当社グループ(当社及び連結子会社)の主要取引先であります印刷業、紙加工業、電子部材メーカー、鉄鋼業及び化学工業などにおきましては、景気の回復とともに少しずつ動きが出始めている業種もあるものの、市場動向を見極めたいという姿勢は依然として根強く、概して設備投資に慎重な傾向が続きました。

このような情勢の下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は3,100百万円(前年同期比92.4%)、営業利益は79百万円(前年同期比66.7%)、経常利益は105百万円(前年同期比68.4%)となりました。一方、保有株式の売却による特別利益として投資有価証券売却益142百万円を計上したため、四半期純利益は193百万円(前年同期比188.5%)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① プロセス事業

当事業の主要取引先であります国内鉄鋼業界は、市場環境が改善する中、国内設備投資は慎重な姿勢が続いており、中長期的な観点から海外設備投資に注力しました。また、海外鉄鋼業界は、全般的に新規設備投資の休止状態が続きました。このような状況において、生産の維持に必要な中小型の設備改修・更新案件の獲得、予備品・部品の販売やメンテナンスなどのアフターサービスに注力するとともに、鉄鋼製品の品質向上と生産効率化を支える新製品群を中心に積極的な営業に努めました。結果として、受注高は前年同期と比べ大幅増となりましたが、前期末の受注残高低迷が影響し、プロセス事業の売上高は1,008百万円(前年同期比86.9%)、セグメント利益は91百万円(前年同期比78.7%)となりました。

② ウェブ事業

当事業の主要取引先であります高機能フィルム業界は、スマートフォンやタブレット端末の旺盛な需要の下、中小型パネル向け部材の生産は好調なものの、設備投資に関しては対象を絞る動きが続きました。また、二次電池市場に対しては予想外に需要が伸び悩んでいることから設備投資に消極的でした。このような状況において、耳端位置制御装置や張力制御装置の新製品を中心に積極的な営業活動に注力しましたが、前年同期の売上高には及びませんでした。

もう一方の主要取引先であります印刷業界は、包装や特殊印刷などを対象に印刷品質検査装置や糊付け装置の拡販に注力しましたが、商業印刷市場が縮小し厳しい環境にあるため、前年同期の売上高を下回りました。

結果として、ウェブ事業の売上高は1,417百万円(前年同期比90.3%)、セグメント利益は187百万円(前年同期比82.5%)となりました。

③ 検査機事業

当事業の主要製品であります無地検査装置は、スマートフォンやタブレット端末の中小型パネル向け高性能検査装置のニーズに対して、粘り強い営業活動を展開するとともに、能力を大幅に向上させた新型機の第3四半期投入へ向けた最終準備に注力しました。また、二次電池向け電極シート検査装置は、市場が伸び悩む中、将来の本格的な設備投資需要に備えてシェアの維持に努めました。

もう一つの主要製品であります選果装置は、国内選果場設備の更新期を迎えている中、独自技術である生傷・腐敗センサも高く評価されており、海外の新規開拓も加え、柑橘類向けを中心に多くの受注を獲得し、売上高も好調に推移しました。

結果として、検査機事業の売上高は653百万円(前年同期比106.5%)、セグメント利益は67百万円(前年同期比193.4%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて114百万円増加し12,611百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少863百万円、投資有価証券及び有価証券の売却を主な要因とした減少228百万円、仕掛品の減少24百万円、流動資産その他の減少85百万円などがあったものの、売掛債権の回収を主な理由とした現金及び預金の増加1,181百万円、商品及び製品の増加167百万円などがあった事によります。また、負債は前連結会計年度末に比べて14百万円増加し1,502百万円となりました。これは主に工事損失引当金の減少58百万円、繰延税金負債の減少50百万円、未払費用の減少39百万円、未払消費税等の減少23百万円、長期借入金の減少16百万円があったものの、流動負債その他の増加152百万円、未払法人税等の増加46百万円があった事によります。

純資産は前連結会計年度末に比べて99百万円増加し11,108百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の減少84百万円があったものの、利益剰余金の増加112百万円、為替換算調整勘定の増加51百万円、ストックオプションの権利行使や売却による自己株式の減少27百万円があった事によります。

(キャッシュフローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)につきましては、営業活動により1,020百万円、投資活動により231百万円増加し、財務活動により94百万円減少しました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は前連結会計年度末と比べて1,195百万円増加し4,769百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの概況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,020百万円(前年同期比806百万円の増加)となりました。これは主なフローアウトに棚卸資産の増加144百万円、投資有価証券売却益144百万円などがあったものの、主なフローインとして売上債権の減少873百万円、税金等調整前四半期純利益250百万円、その他流動負債の増加121百万円、減価償却費65百万円などがあった事によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は231百万円(前年同期は75百万円支出)となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出112百万円、定期預金の預入による支出90百万円などがあったものの、投資有価証券の売却による収入350百万円、定期預金の払戻による収入90百万円などがあった事によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は94百万円(前年同期は103百万円の収入)となりました。これは主に配当金の支払額76百万円があった事によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間までの業況見通しは、「連結経営成績に関する定性的情報」に記載のように、経済環境としては明るい兆しが見えるものの、当社取引先においては当初想定以上に設備投資に慎重な傾向が続き当初の見込みを下回る結果となりました。

第3四半期連結会計期間以降においても、第2四半期(累計)連結会計期間までの未達分を取り返すほどの急激な回復は見込めないと想定しております。

これより、通期業績予想につきましては見直しをおこないました。その結果、当初予想に比べ売上高が500百万円、営業利益、経常利益及び当期純利益を各々30百万円減少する修正をおこなっております。

なお、詳細は本日別途公表いたしました「第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,648,003	4,829,567
受取手形及び売掛金	2,857,019	1,993,500
有価証券	72,787	40,313
商品及び製品	1,215,001	1,382,096
仕掛品	491,918	467,727
原材料及び貯蔵品	477,263	491,179
繰延税金資産	333,677	348,489
その他	239,188	153,286
貸倒引当金	△28,741	△23,585
流動資産合計	9,306,118	9,682,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	418,612	404,656
機械装置及び運搬具(純額)	89,341	78,452
工具、器具及び備品(純額)	65,260	67,105
土地	650,942	644,942
建設仮勘定	4,140	17,350
有形固定資産合計	1,228,297	1,212,507
無形固定資産		
リース資産	108,964	98,732
その他	27,603	13,566
無形固定資産合計	136,567	112,299
投資その他の資産		
投資有価証券	1,356,520	1,160,677
長期貸付金	261,350	245,591
繰延税金資産	2,521	2,973
破産更生債権等	172,195	172,485
その他	209,010	197,334
貸倒引当金	△175,229	△175,017
投資その他の資産合計	1,826,369	1,604,046
固定資産合計	3,191,234	2,928,853
資産合計	12,497,352	12,611,430

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	245,420	253,003
1年内返済予定の長期借入金	32,000	32,000
リース債務	30,107	26,849
未払費用	382,159	342,719
未払法人税等	39,668	86,406
未払消費税等	39,017	15,921
役員賞与引当金	24,100	13,000
工事損失引当金	108,470	49,940
その他	198,443	350,910
流動負債合計	1,099,386	1,170,751
固定負債		
長期借入金	112,000	96,000
リース債務	78,857	71,883
繰延税金負債	74,250	24,020
退職給付引当金	103,752	123,465
役員退職慰労引当金	19,306	16,351
負ののれん	266	—
固定負債合計	388,432	331,721
負債合計	1,487,818	1,502,473
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,072,352	3,072,352
資本剰余金	4,124,646	4,124,646
利益剰余金	4,809,504	4,921,627
自己株式	△1,242,065	△1,214,662
株主資本合計	10,764,438	10,903,964
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	164,672	80,101
繰延ヘッジ損益	—	1,982
為替換算調整勘定	△14,331	37,228
その他の包括利益累計額合計	150,341	119,311
新株予約権	23,425	22,627
少数株主持分	71,329	63,054
純資産合計	11,009,533	11,108,957
負債純資産合計	12,497,352	12,611,430

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	3,356,085	3,100,273
売上原価	2,169,573	2,040,586
売上総利益	1,186,512	1,059,686
販売費及び一般管理費	1,067,211	980,083
営業利益	119,300	79,603
営業外収益		
受取利息	10,186	10,779
受取配当金	4,230	4,035
負ののれん償却額	11,764	266
その他	15,038	16,867
営業外収益合計	41,218	31,948
営業外費用		
支払利息	1,216	997
手形売却損	1,458	1,744
為替差損	2,583	—
その他	1,554	3,629
営業外費用合計	6,812	6,371
経常利益	153,706	105,180
特別利益		
投資有価証券売却益	—	142,379
負ののれん発生益	14,536	15,899
特別利益合計	14,536	158,279
特別損失		
投資有価証券評価損	12,495	—
ソフトウェア除却損	—	12,878
特別損失合計	12,495	12,878
税金等調整前四半期純利益	155,747	250,580
法人税等	51,162	54,330
少数株主損益調整前四半期純利益	104,584	196,250
少数株主利益	1,685	2,312
四半期純利益	102,899	193,938

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	104,584	196,250
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△150,551	△84,571
繰延ヘッジ損益	—	1,982
為替換算調整勘定	7,303	59,871
その他の包括利益合計	△143,248	△22,716
四半期包括利益	△38,663	173,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△40,974	162,909
少数株主に係る四半期包括利益	2,311	10,624

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	155,747	250,580
減価償却費	70,194	65,470
のれん償却額	△11,764	△266
長期前払費用償却額	281	4,349
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,949	△11,100
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	44,423	△5,448
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△44,382	△58,530
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	24,754	19,713
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△13,933	△2,955
受取利息及び受取配当金	△14,416	△14,814
支払利息	1,216	997
為替差損益 (△は益)	198	89
負ののれん発生益	△14,536	△15,899
投資有価証券評価損益 (△は益)	12,495	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,895	△144,129
有形及び無形固定資産除却損	635	12,882
売上債権の増減額 (△は増加)	179,726	873,169
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△216,261	△144,732
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△33,478	77,966
仕入債務の増減額 (△は減少)	58,885	4,676
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,036	△23,773
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	28,255	121,964
その他	24,154	△6,154
小計	247,387	1,004,058
利息及び配当金の受取額	12,912	14,627
利息の支払額	△1,216	△997
法人税等の支払額	△55,474	△13,708
法人税等の還付額	9,820	16,240
営業活動によるキャッシュ・フロー	213,429	1,020,220
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△93,822	△90,940
定期預金の払戻による収入	90,738	90,895
固定資産の取得による支出	△38,440	△38,897
投資有価証券の取得による支出	△105,239	△112,560
投資有価証券の売却による収入	32,419	350,277
子会社株式の取得による支出	△2,750	△3,000
貸付けによる支出	△7,760	—
貸付金の回収による収入	19,315	16,995
その他の支出	△1,580	△1,247
その他の収入	32,087	20,425
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75,033	231,946

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	600,000
短期借入金の返済による支出	△300,000	△600,000
長期借入れによる収入	160,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△16,000
自己株式の売却による収入	11,703	15,553
配当金の支払額	△56,299	△76,899
少数株主への配当金の支払額	△690	—
その他	△10,978	△17,041
財務活動によるキャッシュ・フロー	103,735	△94,387
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,312	37,492
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	243,443	1,195,271
現金及び現金同等物の期首残高	2,999,226	3,574,643
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,242,670	4,769,915

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,159,890	1,570,193	613,388	3,343,471	12,614	3,356,085	—	3,356,085
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,159,890	1,570,193	613,388	3,343,471	12,614	3,356,085	—	3,356,085
セグメント利益	116,451	227,662	35,150	379,263	391	379,654	△260,354	119,300

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△260,354千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更による、当第2四半期連結累計期間の各セグメント利益に及ぼす影響額は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

第2四半期連結累計期間において、プロセス事業に関連した負ののれんを14,536千円計上しております。これは、当社が追加取得した子会社株式の取得原価が、当該追加取得に伴う少数株主持分の減少額を下回った事によるものであります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,008,521	1,417,233	653,318	3,079,072	21,201	3,100,273	—	3,100,273
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,008,521	1,417,233	653,318	3,079,072	21,201	3,100,273	—	3,100,273
セグメント利益 又は損失(△)	91,632	187,931	67,986	347,549	△1,596	345,953	△266,350	79,603

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△266,350千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

第2四半期連結累計期間において、プロセス事業に関連した負ののれんを15,899千円計上しております。これは、当社が追加取得した子会社株式の取得原価が、当該追加取得に伴う少数株主持分の減少額を下回った事によるものであります。